学校番号	403

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説　世界史Ｂ」　（山川出版社）						
副教材等	アカデミア世界史　（浜島書店）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

①単なる暗記に終わるのではなく、歴史的な流れを大切にし、事件が起こった原因や背景、その結果による世界の変化を理解する。
②歴史を過去のものではなく、現在のものとするため、主要な人物について、できうる限り、残した言葉や生き様を紹介する。
③写真・絵画や地図を中心とする視聴覚教材など、多様な教材を使用して世界史への興味・関心を引き出させる。
④歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
⑤歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

２ 学習の到達目標

①世界史の大きな枠組みと展開を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
②諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の諸地域の歴史過程や文化、その交流に関心と課題意識を高め、意欲的に追究する姿勢を養う。	世界の諸地域に特有な民族・風土・文化を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を公正に判断して、その過程や結果を適切に表現する能力を身につける。	世界史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	定期考査 ノート・ワークシートの提出 授業態度	定期考査 ノート・ワークシートの提出 授業態度	定期考査 ノート・ワークシートの提出 授業態度	定期考査 ノート・ワークシートの提出 授業態度

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	欧米における近代国民国家の発展	・ウィーン体制の成立 ・ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生 ・南北アメリカの発展 ・19 世紀欧米の文化	○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a: ウィーン体制の特色とその崩壊過程，社会主義思想の成立と普及，ロシアの南下政策とそれに伴うヨーロッパ列強の対立，イタリア・ドイツの統一の背景や過程について，関心を持って学習しようとしている。アメリカ合衆国の西部への領土拡大が，独自のものの考え方や行動様式をはぐくんでいったことを学習しようとしている。 b:クリミア戦争以後の国際対立とビスマルク外交，イタリア・ドイツの統一を表などにまとめる。ヨーロッパ諸国の動向とラテンアメリカの独立を関連付けて考察し，文章にまとめる。アメリカ先住民や奴隷解放後の黒人への抑圧を，現在の人種・民族問題と関連付けて考察し，文章にまとめる。 c:ウィーン会議後のヨーロッパ諸国の地図、イタリアとドイツの統一，ベルリン会議後のバルカン半島、ラテンアメリカの独立，アメリカ合衆国の領域拡大をしめす地図や写真・図版などを適切に活用している。19世紀欧米文化の美術作品の図版などから，その文化の特色に触れることができている。 d:フランスの革命運動を中心に，ウィーン体制を崩壊させたヨーロッパ諸国の自由主義や民主主義的な政治改革の動向、クリミア戦争とロシアの皇帝主導の近代的改革，ヴィクトリア時代のイギリスの繁栄，フランス第二帝政とその崩壊，イタリア・ドイツの統一とビスマルクによる協調外交といった，ヨーロッパ諸国の国民国家形成期の基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発問評価 授業態度
2学期	アジア諸地域の動揺	・オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容 ・南アジア・東南アジアの植民地化 ・東アジアの激動	○ ○	○ ○	 ○ 	○ ○ ○	a: ヨーロッパ勢力の干渉によるオスマン帝国と西アジア地域の変容，ムガル帝国の解体と東南アジアの植民地化、アヘン・アロー両戦争・太平天国の動乱で清朝の支配が大きく動揺し近代化への取り組みが始まったことを関心を持って学習しようとしている。清朝の冊封体制の解体の中で，東アジアの国際秩序が再編されていったことを追求しようとしている。 b: 西アジアでのアラブ人のナショナリズムの萌芽，インド大反乱の社会的背景やタイの植民地化回避の理由を考察し，文章にまとめる。太平天国の動乱をアヘン戦争後の社会不安と関連付けて考察し，文章にまとめる。 c:19世紀の西アジアとバルカン半島の地図や図	定期考査 ワークシート 発問評価 授業態度

							版、インド・東南アジアの植民地化を示す地図，ロシアの東方進出や東アジアの動向をあらわす地図や写真，諸資料を適切に活用している。 d：オスマン帝国の動揺とタンジマート改革の挫折，アラブの民族運動，イギリスによるインドの植民地化とインド社会の停滞から発生した大反乱，ヨーロッパ諸国の東南アジアの分割と植民地化に関する基本的な知識を身につけている。アヘン・アロー両戦争やロシアの進出による清帝国の動揺，日清戦争がおこる過程に関する基本的な知識を身につけている。	
	帝国主義とアジアの民族運動	・帝国主義と列強の展開 ・世界分割と列強対立 ・アジア諸国の改革と民族運動	○ ○ ○	 ○ ○	○	○ ○	a：欧米列強が植民地獲得や勢力圏拡大の競争を繰り広げた結果，列強の二極分化が進み，第一次世界大戦につながる危機が高まっていったことを関心を持って学習しようとしている。帝国主義列強の侵略にさらされたアジア諸国における民族運動の形成と，このような世界情勢の中で日本が列強としてアジアへの勢力拡張に加わったことを，関心を持って学習しようとしている。 b：19世紀後半から欧米で進展した第２次産業革命と，各国の帝国主義の動きを関連づけて考察し，文章にまとめる。経済力と軍事力を背景とする欧米列強の支配による世界の一体化が，世界各地の社会の変容に与えた影響について考察し，文章にまとめる。 c：アフリカ・アジア・太平洋地域の関連地図，同盟・協商関係図や図版などの諸資料を適切に活用している。 d：帝国主義時代における欧米列国の国内問題とアジア・アフリカ・太平洋地域・ラテンアメリカにおける植民地獲得や勢力圏拡大の競争、列強の二極分化の過程に関する基本的な知識を身につけている。中国分割の危機と辛亥革命，インド，東南アジア，西アジアにおける民族運動の形成に関する基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発問評価 授業態度

3学期	二つの世界大戦	・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・アジア・アフリカ地域の民族運動 ・世界恐慌とファシズム諸国の侵略 ・第二次世界大戦 ・冷戦の終結	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	a:19世紀末から20世紀初頭にみられた社会の急激な変化や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:20 世紀初頭にみられた社会の急激な変化の具体的な様相や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。ロシア革命の世界史的な意義と影響,およびファシズムという運動を20世紀における大衆社会の出現と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c:20 世紀という時代の特質、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格、両大戦の影響と平和の意義などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:20 世紀という時代の基本的な事柄や、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格についての基本的な事柄を、両大戦の影響と平和の意義などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。 e:第二次世界大戦後に顕在化した冷戦の構造を考え、軍拡から軍縮へ向かった理由を様々な資料から推察し、冷戦の終結について文章にまとめる。	定期考査 ワークシート 発問評価 授業態度

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。